

## 「通信ネットワーク実習1」レポート 作成・提出ガイド

### 1. 表紙(図 1.1 参照)

1.1 題目: 「通信ネットワーク実習1」実験報告書

・第1回 主題: 無線光通信の波形計測 2

・第2回 主題: 無線 LAN の特性

1.2 実験年月日: 実験した年月日(例:令和元年5月13日)

1.3 提出年月日: 初回の提出日(例:令和元年5月20日)

1.4 第1回再提出年月日: 1回目の再提出日(例:令和元年5月27日)

1.5 第2回再提出年月日: 2回目の再提出日(例:令和元年6月3日)

1.6 学生証番号、氏名: レポート執筆者の学生証番号と氏名

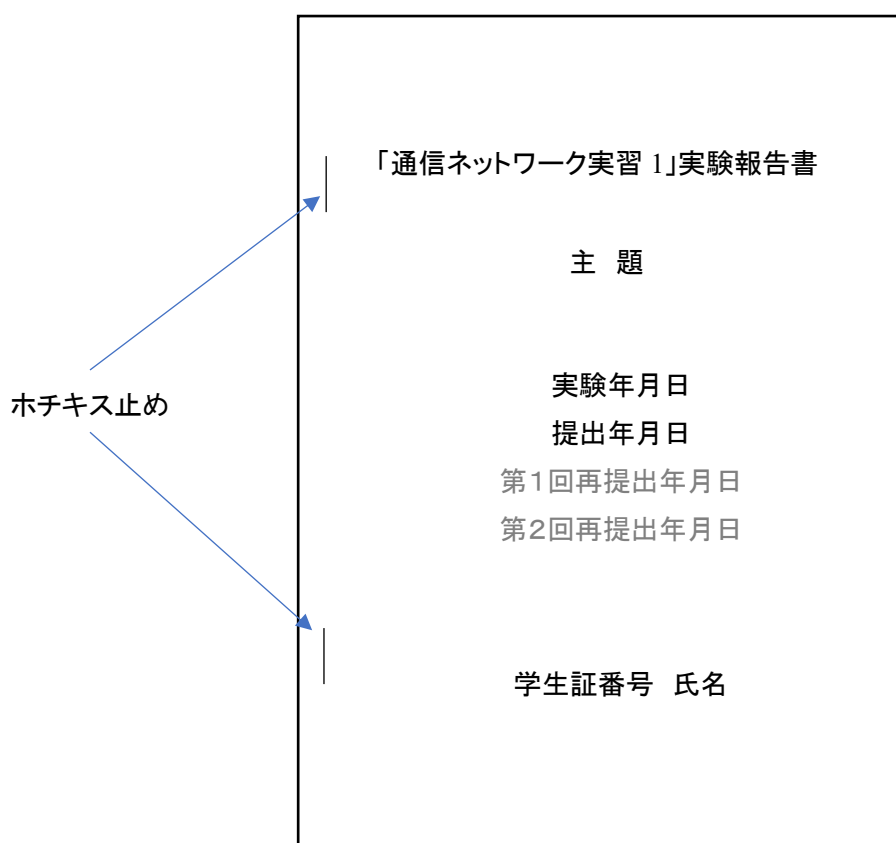


図 1.1 報告書表紙

## 2. 本文

### 2.1 目的

実験の意義や目的を簡潔に記すこと。

図や表は、定規などを使って丁寧に作成する(フリーハンド不可)

### 2.2 機器構成

機器構成図を描くこと。上記の構成表に示した機器と対応が取れるように、記号や名称を加筆すること。図番号は該当図の下に記し、本文中に図の説明を加えること。

### 2.3 使用機器

使用した機器の名称、型式、数量などを表に整理すること。表番号は該当表の上に記すこと。

### 2.4 実験方法

使用方法について具体的に記述すること。

### 2.5 実験結果

実験で得た情報を整理すること。必要に応じて、箇条書きや、表形式での記述も可。

### 2.6 考察

この項目が、最も重要である。まず、こうした実験結果が得られた理由を挙げ、その妥当性に関して自分の考えを述べること。

### 2.7 結論

実験結果から判明したことを簡潔に述べること。また、実験目的の達成程度についても記述すること。

### 2.8 補足検討 (第2回レポートの場合のみ加えること)

都心部における電波障害の事例を挙げ、電波障害が起きる理由を述べよ。

### 2.9 参考文献

レポートを作成する際に参考にした資料の名称、著者名、出版社名、および web サイトページの URL を記述すること。

### 2.10 所感

実験の最中やレポートの作成中に感じたことを述べるとよい。

例) 実験で扱った技術に関心は持てたか。また、どのような点に興味を覚えたか。

実験が困難であった点は何か。また、その困難な箇所をどのように解決したか。

実験が自分自身の技能向上に、どのように役立つか。

実験に対する反省点や改善点。など

## 3. 提出

### 3.1 日時

#### 第1回レポート

初回提出 令和元年 5 月 20 日 授業開始時刻(9:10)

第1回再提出 令和元年 5 月 27 日 授業開始時刻(9:10)

第2回再提出 令和元年 6 月 3 日 授業開始時刻(9:10)

## 第2回レポート

初回提出 令和元年7月8日 授業開始時刻(9:10)

第1回再提出 令和元年7月15日 授業開始時刻(9:10)

第2回再提出 令和元年7月22日 授業開始時刻(9:10)

### 3.2 提出先 1B202 実験室 レポートBOX

やむを得ない事情により提出日時に欠席する場合は、提出日時の前週の土曜日 16 時まで、通信ネットワーク実習 1 のレポートである旨を告げて教務課へ提出すること。

※提出期限を過ぎたレポートは、受領しない。

### 4. 再提出

表紙や本文の書式や内容に誤りがあった場合は、誤った箇所を訂正して再提出すること。内容が不足している場合は、ページを追加して補うこと。

再提出の場合、表紙は初回提出時の表紙を用い、再提出年月日を手書きで書き加えること。

再提出期限 再提出の指示があった日の翌週の授業開始時刻。

\* 再提出の期限を過ぎた場合は、受領しない。

### 5. 注意事項

パソコンを使って作成する(ペンでの手書き可)。図は手書き(パソコン使用可)。

用紙:A4 判普通印刷用紙または横罫線付きレポート用紙。

本文にはページ番号を付ける。表紙には付けず、2ページから用紙下部中央に記すこと。